

オオバは次の100年を見据え、新しいまちづくりに挑戦し続けます。

持続可能な社会を目指し、未来の「まち」を創造する。

Innovator for Future

株式会社 オオバ

URBAN DEVELOPMENT & CIVIL ENGINEERING, CONSULTANTS
SINCE 1922



出典：国土地理院撮影の空中写真（2019年4月）



大型商業施設のある「新しい駅」のまちづくり

仙台空港アクセス鉄道「杜せきのした駅」と大型商業施設の連携でつくる「まち」。仙台空港や仙台中心部へのアクセスのよさとともに、仙台東部道路、東北縦貫自動車道などにより、車でのアクセスも便利な場所にあります。藩政時代の交通の要衝でもあった土地として、ふるさとの資産を継承しつつ、新しいまちづくりに取り組みました。

女川町震災復興事業「海を眺めてくらすまち」

東日本大震災により町の大半の機能を失った女川町。本地区は、JR女川駅駅前広場からレンガみちを軸に商業・業務、交流施設、周辺の店舗・事業所、町営駐車場から構成される町のシンボル空間となっており、「海を眺めてくらすまち」をコンセプトに、周囲の豊かな自然と調和し100年先の人々にも選ばれる都市空間を目指しました。



オオバ撮影（2022年8月）

